

<指導上のポイント>

「重さ比べ」の問題は、指導者の力量、すなわち、子供への問題に対する取り組ませ方が、極端に正答率を左右する問題の一つです。しかし、トレーニング次第で簡単に解答できるようになります。

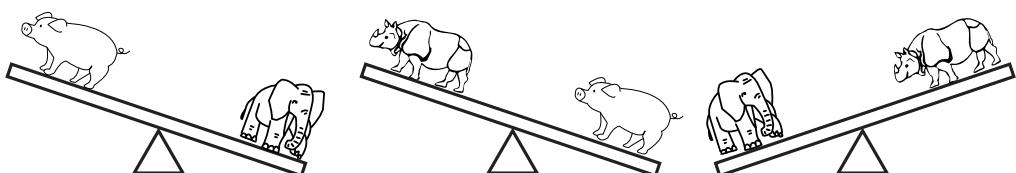
まずは、重さ比べの「シーソー問題」について解説します。

最初に、シーソーの絵を見て、どちらが重いかを理解させます。理解できなくては、この種の問題の解答は不可能です。公園や教具などでシーソーに二人が乗ると、重いほうが下がるということを実感させ、理解させる必要があります。

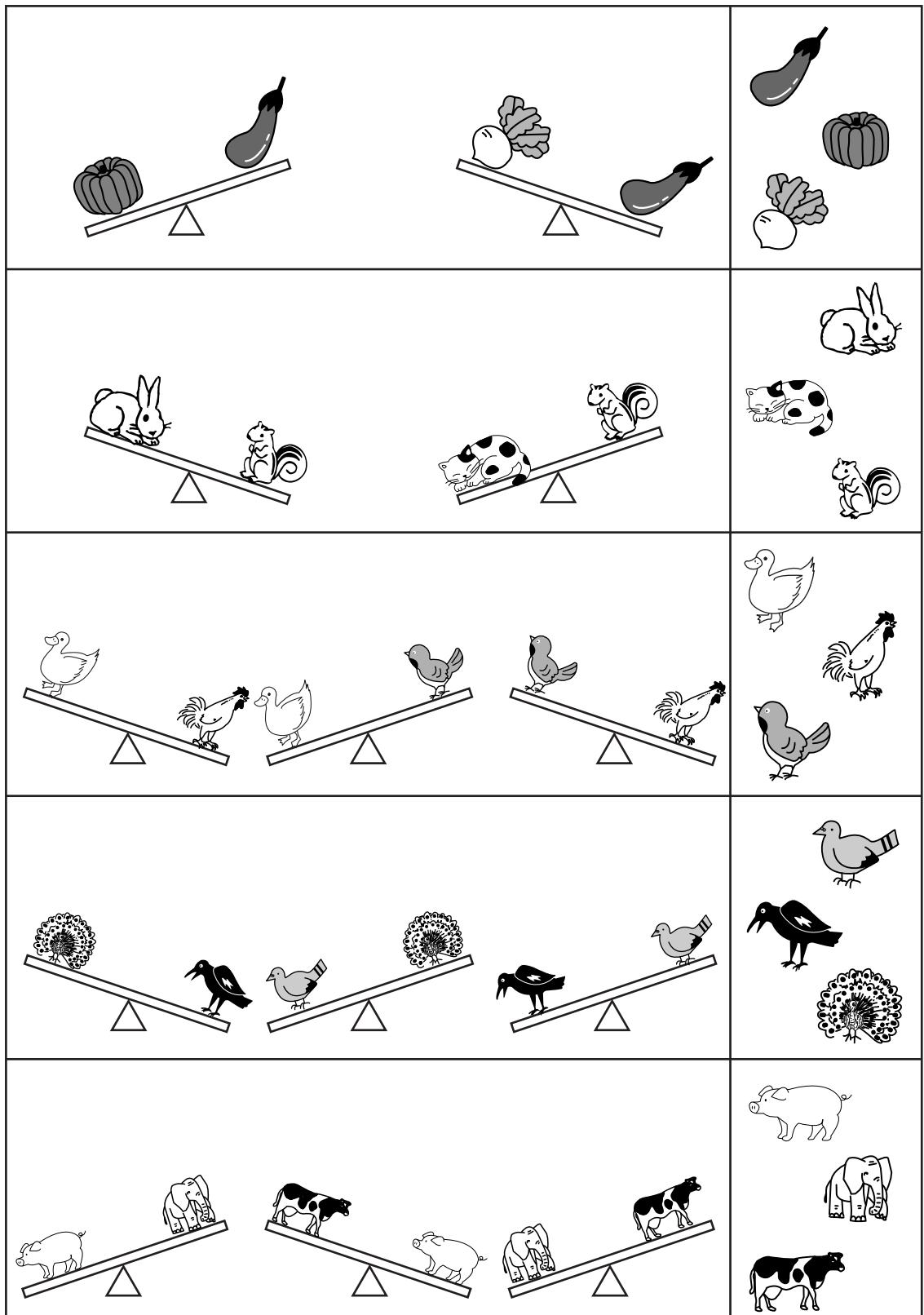
次に、3つ以上のものの重さを比べたときの考え方を理解させます。1番重いものは、誰と重さ比べをしても常にシーソーが下がり、1番軽いものは、誰と重さ比べをしても常にシーソーが上がります。下の絵を見ると、ゾウは常にシーソーが下がり、サイは常にシーソーが上がっています。すなわち、ゾウが1番重く、サイが1番軽いのです。

次に、2番目のものを見つける方法、考え方を説明します。もし、1番のものを消したときに、残りの中から1番になるものが2番目になるということです。下の絵を参考に考えると、まずはゾウが一番重いので、ゾウが乗る左右のシーソーを消します。すると、真ん中のシーソーが残り、そこで重いほうが2番目に重いものということです。軽いものも同様です。つまり、サイが一番軽いので、サイが乗る右の2つのシーソーを消せば、左端のシーソーで軽いブタが2番目に軽いものになります。

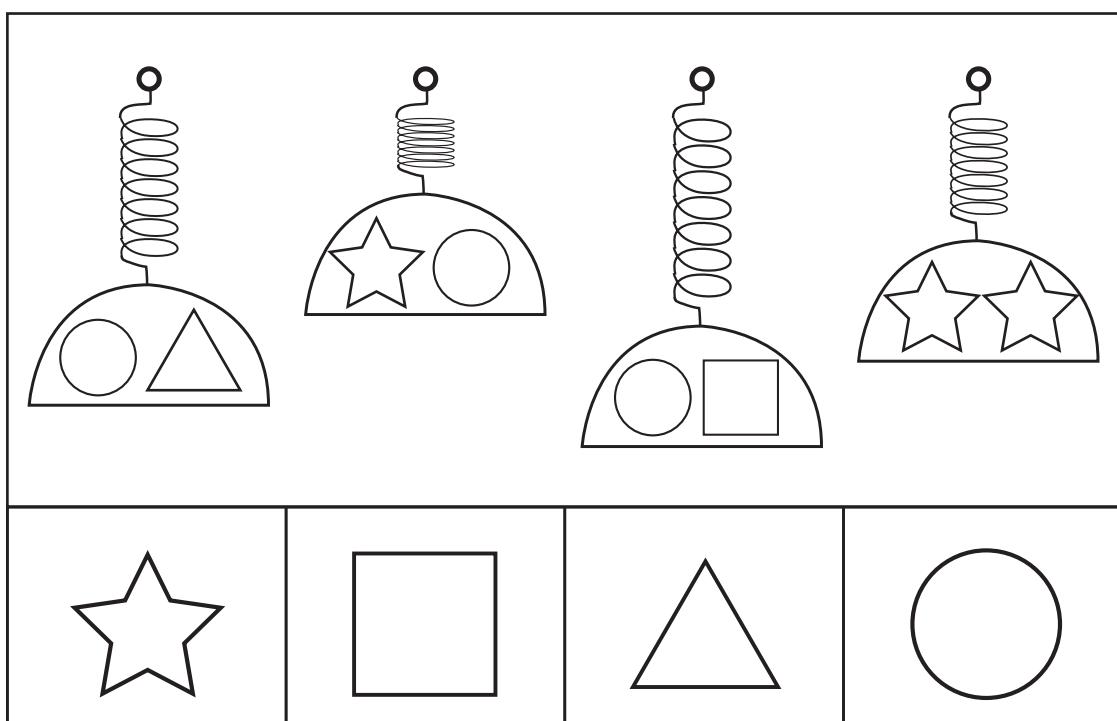
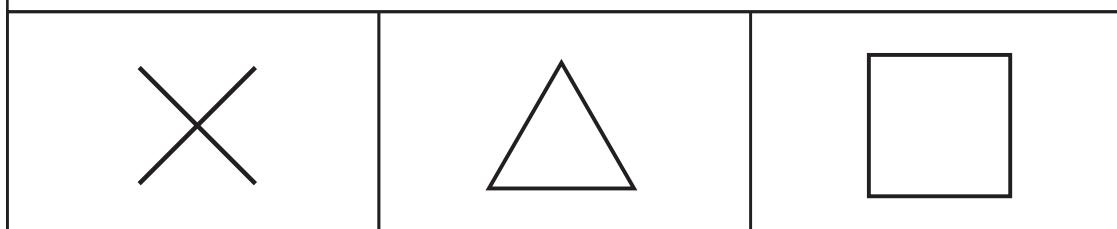
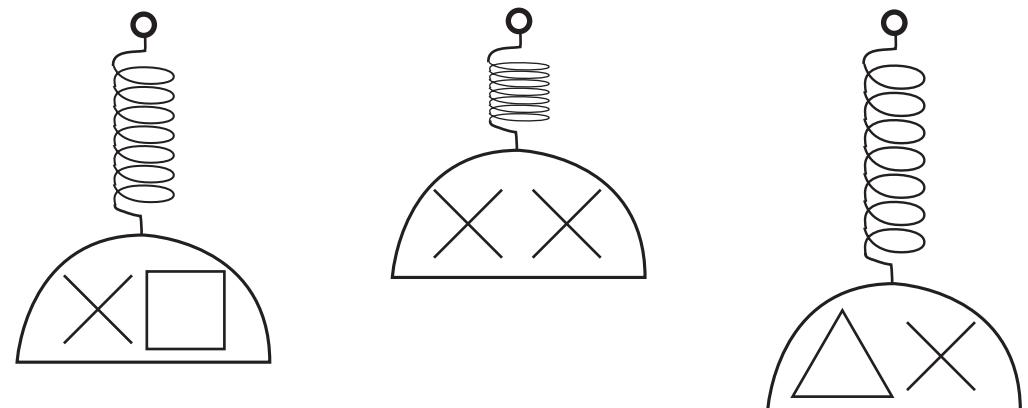
他の問題も、基本は上記の考え方の応用です。紙の上でのトレーニングだけでなく、実際にシーソーやばねばかりで遊んで、重さの概念をきちんと理解できるようにしてください。



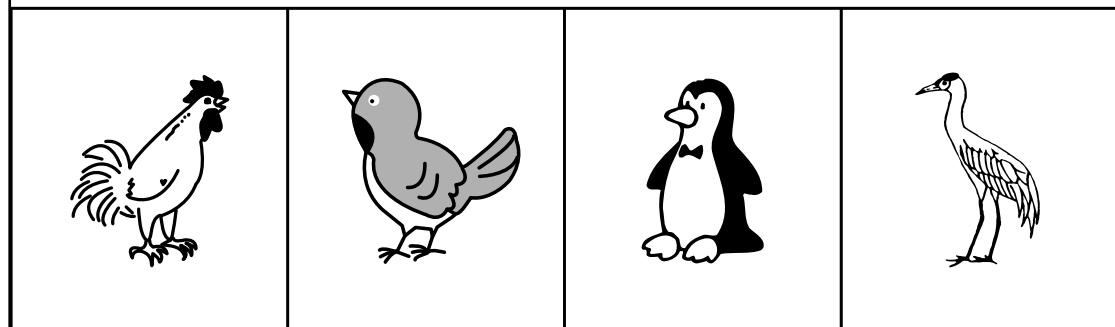
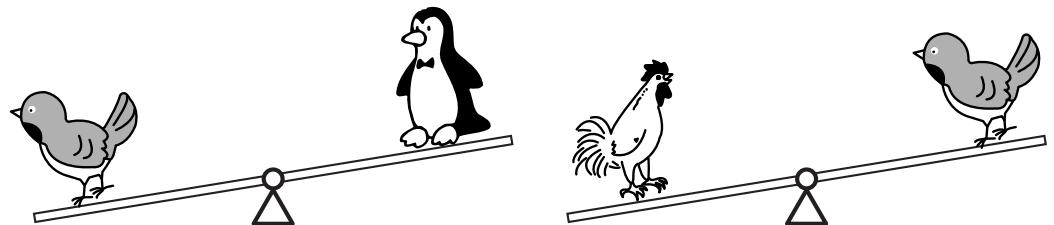
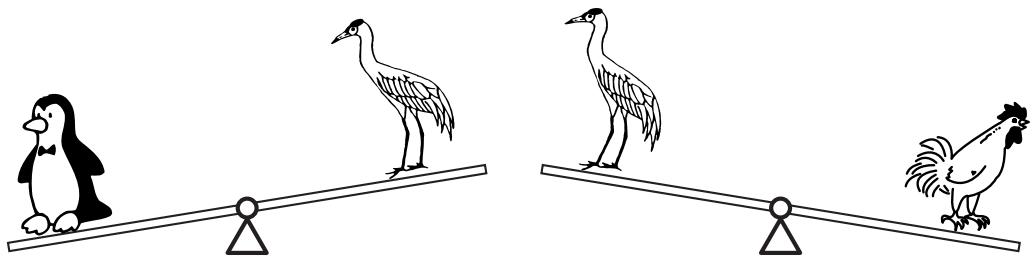
<例題1> 一番重いものは何ですか？右の絵の中から選んで○を
つけましょう。



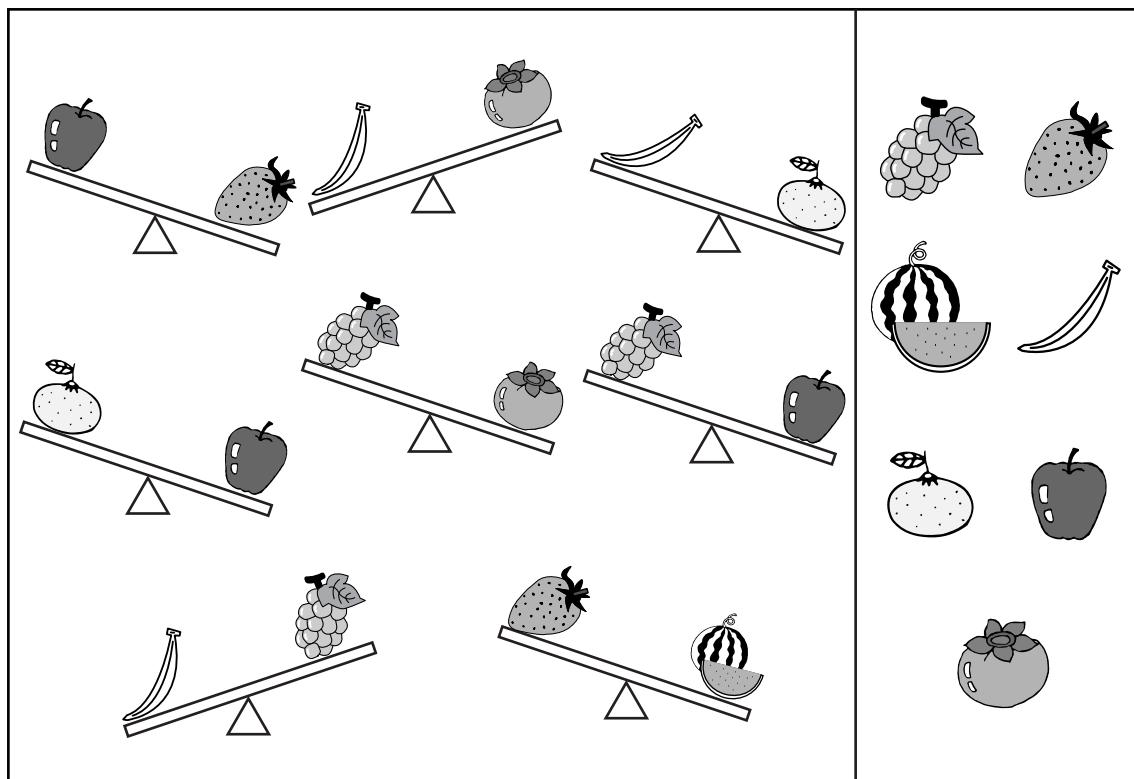
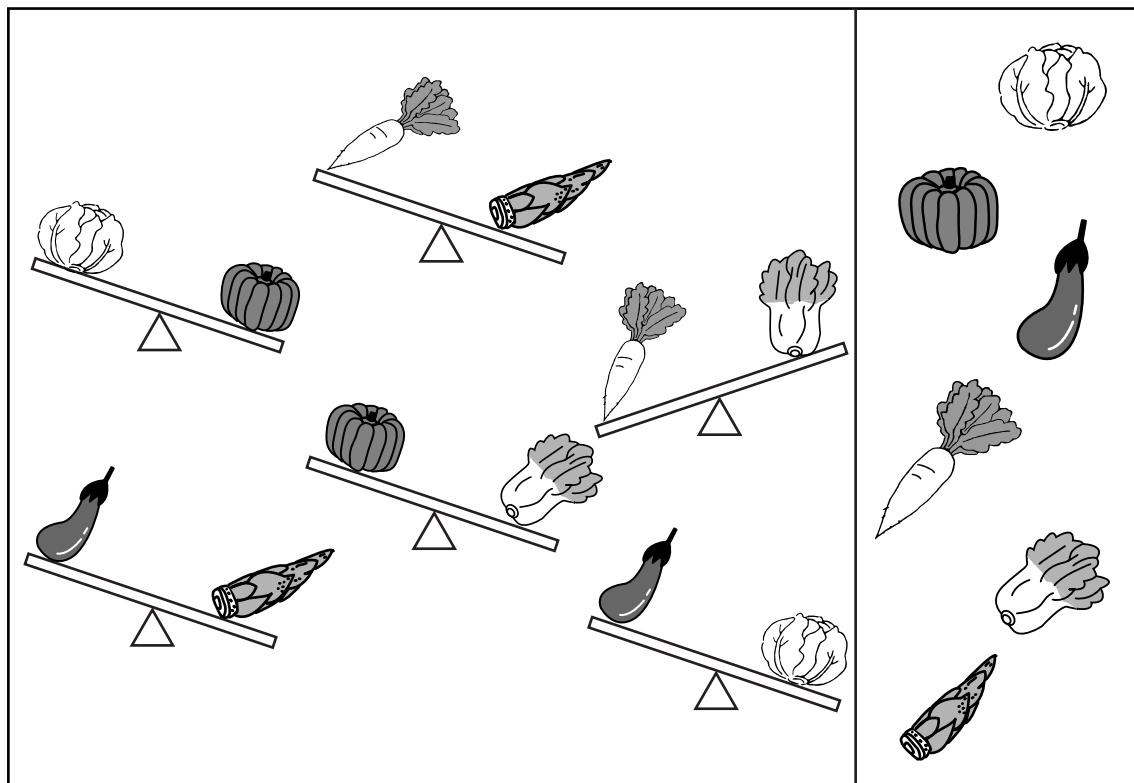
<例題 6> ばねばかりで、重さ比べをしました。それぞれ一番重いものを下から選んで○をつけましょう。



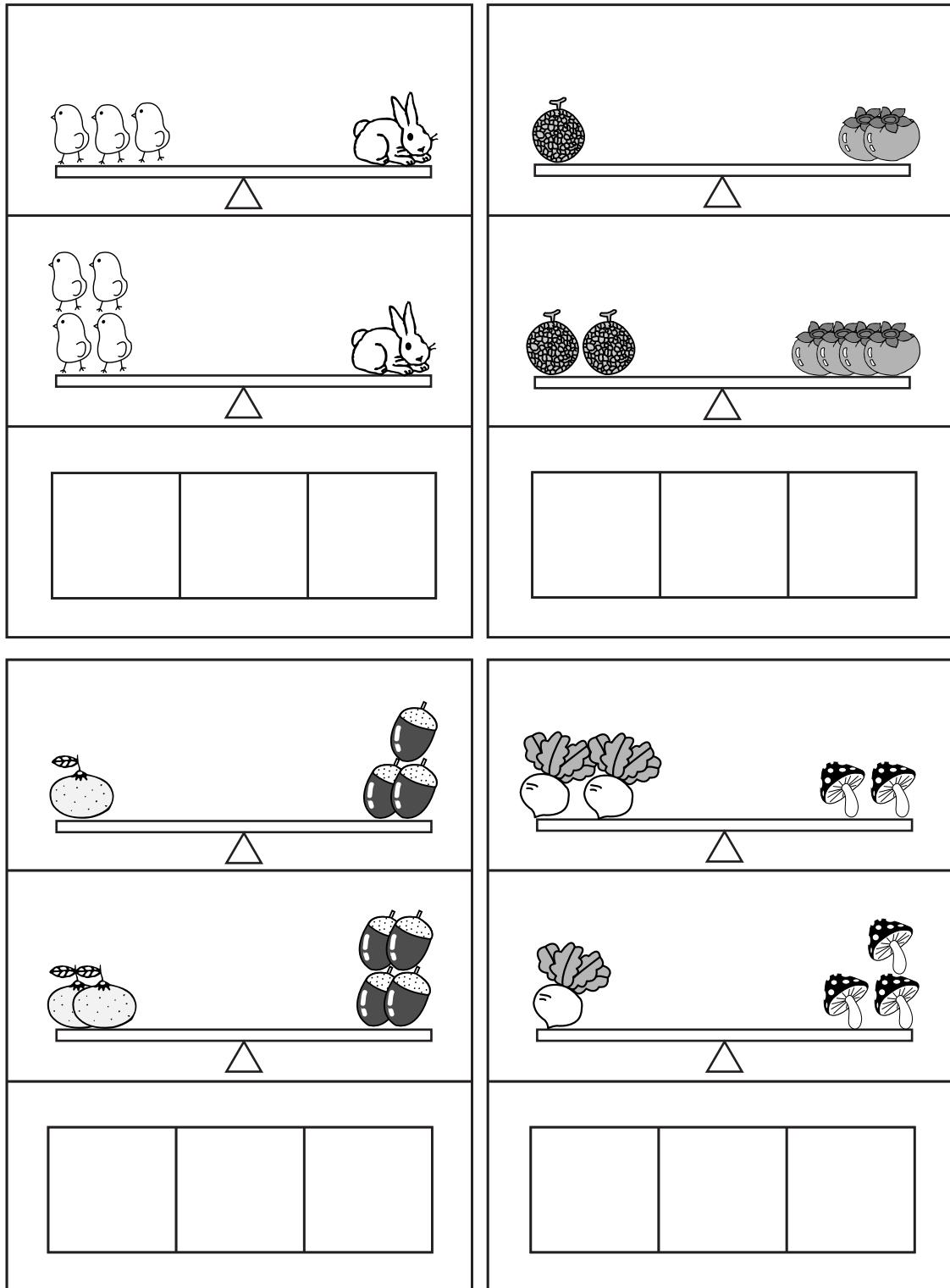
<例題 1 >の類題② 一番重いものを見つけて、○をつけなさい。



<例題3>の類題③ 一番重いものに○を、一番軽いものに△を
つけましょう。



<例題 5 >の類題② 上のシーソーは釣り合っていますが、下のようにするとシーソーはどちらへ傾きますか？左に傾くと思う人は、左の□に○を、右に傾くと思う人は、右の□に○を、釣り合うと思う人は、真ん中の□に○をしなさい。



<例題8>の類題③ 二番目に軽いものに、○をつけましょう。

